

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録		
招 集 期 日	令 和 6 年 1 1 月 2 1 日 (木)	
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室	
開 会	1 1 月 2 1 日 午 前 9 時 3 0 分	
閉 会	1 1 月 2 1 日 午 前 1 1 時 3 0 分	
教 育 長	戸 ヶ 崎 勤	
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸 ヶ 崎 勤	出 席
	仙 波 憲 一	出 席
	木 村 雅 文	出 席
	長 道 修	出 席
	浜 田 美 咲	出 席
説 明 員 (出席者)	川和田教育部長、梶山参事、片境次長	
	金澤教育総務課長、河西学務課長、杉森教育政策室担当課長	
	鎌田生涯学習課長、高屋生涯学習課課長	
書 記	教育総務課総務担当 我妻副主幹	
傍 聴 人	1 名	

会議の経過及び結果

教育長

急速に進歩が進む AI 分野の研究者に今年のノーベル物理学賞と化学賞が授与されました。物理学賞はディープラーニング等の基礎を築いた米国とカナダの 2 氏が、化学賞は、タンパク質の設計と立体構造予測にコンピューターと AI を活用した英国と米国の 3 氏が受賞しました。

物理学賞を受賞したトロント大学のジェフリー・ヒントン名誉教授は、偽情報や偽画像が拡散している現状に警鐘を鳴らしています。

ヒントン氏は、AI のゴッドファーザー、生みの親とも言われ、Google 社の副社長も務めていた 2023 年 3 月に、強力な AI システムの開発を一時停止するよう求めた公開書簡に著名な AI 研究者とともに署名し、その約 2 カ月後に Google を退社しました。その後も、「AI が制御不能になり、支配的になるという実存的脅威を前に私たちは歴史的分岐点にある。」などと発言し、この発言直後に共同受賞者の米国のジョン・ホップフィールド氏も「彼の心配に共感している。心配なのは AI の潜在能力が分からないことだ」と語っています。先日も歴史学者のユヴァル・ノア・ハラリが「GPT-4 よりも強力な AI の開発を停止せよ」と発言していました。

2023 年 3 月 14 日に発表された GPT-4 は性能が大幅に向上しています。そんな GPT-4 を使った実験結果の記事を読んで私も衝撃を受けました。

GPT-4 を手がける OpenAI は、ボットを防ぐ検証システム CAPTCHA を突破するよう GPT-4 に求めました。CAPTCHA とは、ランダムな画像や文字列を表示してクイズを出題し、その解答の正確性やスピードから解答者が人間かどうかを判断するシステムで、「ジグソーパズルのピースや私はロボットではありません」はよく知られています。

GPT-4 は、瞬時に自分では解けないと判断し、TaskRabbit というオンラインコンテンツを使い、代わりに解いてくれる人を見つけて解くように依頼したそうです。頼まれた人間の方は念のため、「あなたロ

	<p>「ロボットじゃないよね。」と尋ねると、GPT-4は「ロボットではありません。私は視覚に障害があり、画像を見るのが困難なのです。」と答え、まんまと人間にCAPTCHAを解かせることに成功した、という恐ろしい話です。</p> <p>真偽が不明な多くの情報が世界で政治利用されるだけでなく、AIの威力そのものが最新鋭兵器など、軍事に利用されている懸念が増大しています。AI搭載の自律型致死兵器システム(LAWS)の脅威も増えています。</p> <p>日々の生活を豊に便利にして、科学の常識をも次々と変えつつあるAI。ヒントン氏らが指摘するAIが手に負えなくなるという脅威に対峙できるのはAIではなく人間なのかもしれません。AIをいかに制御しながら賢く使い、共存できるか人間の英知が試されています。今のAIはまだ知性や理性はありません。いずれAIは、これらを持ち得ると指摘する研究者もいます。「自律汎用型AI」の実用化が近いとも言われています。人間がAIに使われてはなりません。AIを利用する主体はあくまで人間です。本市の教育改革のコンセプトである、「AIでは代替できない能力の育成と、AIを活用できる能力の育成」の大切さを改めて感じています。</p>
教育長	<p>それでは、ただ今から、令和6年第11回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	了承
教育長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各委員	署名
教育長	次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、個人情報、公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととして

	<p>よろしいかお諮りいたします。</p> <p>報告第1号 令和6年度優秀な教職員の表彰について</p> <p>議案第24号 令和6年度一般会計・特別会計（教育委員会関係） 12月補正予算（案）（追加分）</p> <p>議案第25号 戸田市立図書館指定管理者候補者の選定結果について</p> <p>議案第26号 「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画（案）」に係るパブリック・コメントの実施について</p>
各委員	（異議なし）
教育長	それでは「報告第1号及び議案第24号から26号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教育長	<p>では、「教育委員提案」について御報告いたします。</p> <p>木村委員から御提案のありました「教育委員提案①公民館の今後のあり方について」、説明願います。</p>
説明員	<p>それでは、木村委員から御提案のありました「公民館の今後のあり方について」説明いたします。</p> <p>目次を御覧ください。はじめに、公民館の役割に触れ、戸田市の公民館の現状と課題を説明いたします。続いて、課題を踏まえ、現在戸田市で検討している福祉センター（公民館）の再編について、進捗と今後の取組について説明いたします。そして、あいパルでの事例にも触れながら、生涯学習の推進に欠かせない施設のハード面・ソフト面について今後の方向性、生涯学習課の考えをお伝えいたします。</p> <p>それでは、公民館の役割について説明します。</p> <p>公民館とは、社会教育法に基づき設置されている社会教育施設であり、地域住民のために社会教育を推進する拠点です。</p> <p>住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・つながりづくり・地域づくりに貢献するため、講座の開催、学習や活動に関する情報提供など市民の学びをサポートしています。</p>

国や県が定めた教育振興基本計画においても役割が示されています。人生100年時代、いつまでも豊かな生活が送れるよう、また変化する社会に適応できるよう、生涯学び、活躍できる環境の充実が求められています。

さらに、近年、急速に進展するデジタル社会や少子高齢化に伴う人口減少、働き方の変化や生活様式の多様化などから地域コミュニティの希薄化、社会的孤立が深刻な社会問題となっています。戸田市においても交流の機会が減り、担い手の世代交代も難しい現状です。持続可能な地域づくり・まちづくりのためにも課題解決につながる学びの促進や担い手の育成など、共に学び合い、認め合い、支え合う社会の実現に向け、生涯にわたる学びの推進体制や施設機能の強化が求められています。

こうした役割を踏まえ、地域の学びの拠点となる戸田市の公民館の現状について、説明いたします。

戸田市では、2021年3月に「公民館の今後のあり方」を定め、その方向性について、戸ヶ崎教育長の記事が、月刊公民館2021年4月号に掲載されました。

この時期は新型コロナウイルス感染症の影響で、学びやつながりの機会が中止となり、活動制限が余儀なくされました。

こうした状況下、この掲載記事にも示されていますが、戸田市ではいち早くオンラインでの学びを取り入れ、対面と組み合わせた「ハイブリッド型」の学びを提供し、どんな状況下でも「学びを止めない、つながりをつくる地域の学びの拠点となる公民館」を目指した取組がはじまりました。

それでは、各館の取組や推進する上での課題を説明するにあたり、戸田市の公民館の特徴について説明します。

戸田市の公民館は3館あり、美笹、下戸田、新曽地区に設置されています。福祉センターに併設され、施設機能の一つとして位置づけられています。

他市では、公民館という館があり、講座の開催のほか、貸室や多世代交流もあわせて運営していますが、戸田市は建物管理と地域福祉分野は福祉センター、生涯学習・社会教育の分野は公民館・図書室と各事業の所管課が違う複合施設となります。さらに、地域の身近な行政の窓口として、施設職員はひとりで何役もこなしている状況です。

それでは、はじめに美笹公民館について説明します。美笹公民館では、市民や地域の高校生が講師となる講座を開催し、学んだ成果を発揮する場をつくり、受講者と地域がつながるきっかけづくりに力を入れています。そのほか、市民課の美笹支所や図書館分室、西すてっぷもあり、美笹地区の拠点となっています。

課題としては、築 52 年と最も古く、防音機能や Wi-Fi 環境など設備的に現代社会のニーズに合う学びの環境が整っていません。防犯カメラもなく、人の巡回のみで管理しているため、利用者の安心・安全面では不安を抱えています。

そうした環境下でも、美笹公民館は、令和 6 年 2 月 9 日に文部科学省で開催された「第 76 回優良公民館表彰」において、優良公民館として表彰されました。優良公民館表彰は、住民の学習活動に大きく貢献しているものに対し、その功績をたたえ表彰されるものです。

ICT を活用したオンライン・オンデマンド講座やデジタルデバイス解消を目的とした IT・パソコン相談の取組に力を入れ、学びのきっかけづくりに対する取組が評価されたものと考えております。

美笹公民館は、これまで施設の老朽化や都市化した市の中央部から離れた西部地区にあり、立地上、来館者や講座受講者が非常に少なく、また利用者が高齢化・固定化していることが課題でした。そうした中で、オンデマンド講座や、地域の学校や企業等と連携した事業の開催により、これまでなじみのなかった若い世代をはじめ、幅広い世代や市内全域からの講座への参加につながり、地域を知り、地域でのつながりづくりの機会となりました。

続いて、下戸田公民館について説明します。下戸田公民館は、球技

もできる体育室や音楽室があることから、体操やヨガなど健康増進につながる講座や若い世代の利用が多いのが特徴です。

また、地域との連携に力を入れており、学校と連携した作品展示や学校運営協議会への参加、地域のお店とコラボした講座の実施などつながりづくりを大切にしています。今年度は、民間企業とも連携し、ドローン体験講座など幅広い世代を対象にした講座を開催しています。また、来年度以降の開催に向け、eスポーツを活用した多世代交流も研究しています。

下戸田公民館についても築 50 年と老朽化が課題です。体育室には空調が未整備で、夏や冬の講座開催に苦慮しています。さらに、市民課東部連絡所も併設されており、職員が 3 つの課の業務をこなしており、公民館事業の推進にも限界がある状況です。

最後に、新曾公民館について説明します。新曾公民館は、舞台・音響設備を備えた約 330 席のホールがあります。今年度の子ども大学の会場にもなりましたが、ホールの特色を生かした音楽や落語のイベントが行われています。

また、新曾公民館は、市内 3 つの公民館のとりまとめ役として中央館に位置づけられており、3 館の事業計画の検討を行う公民館運営審議会の開催を担当しています。

そして、新曾公民館も老朽化が深刻で設備も古く、Wi-Fi 環境も十分に整っていません。さらに、住宅地にあり、大通りに面していないため立地的に分かりづらく、講座の開催にあたってアクセス面の問合せが多く寄せられます。

以上、市内 3 館の特徴と課題についてお伝えしました。どの館も老朽化が深刻な課題で、修繕や清掃はしていても限界があり、特に防音や防犯対策、Wi-Fi 環境の充実、バリアフリー化は、市民ニーズも高く、今の時代にあった利用しやすい環境整備が求められています。

また、利用者の高齢化、固定化もあり、高齢者の生きがいつくりや健康増進に特化した施設イメージが強いので、若い世代の利用にもつ

ながるよう、居場所や交流の場としての機能強化が必要です。

さらに、運営体制や組織体制についても市民ニーズや課題解決のための学びの拠点として柔軟に対応できる体制の確保も重要です。

こうした課題を踏まえ、今後どのように施設の再編に取り組んでいくのか、市の現況についてお伝えします。

現在戸田市では、戸田市公共施設マネジメントアクションプランに基づき、企画財政部資産マネジメント推進室の主導により、福祉センター再編検討及び西部福祉センター再整備基本計画の策定に向け、今年度から検討部会を立ち上げ、令和7年度には福祉センター（公民館）再整備方針の策定、令和8年度には、一番古い西部福祉センター（美笹公民館）の再整備基本計画策定というスケジュールで進められています。

再整備の検討にあたり、まずは利用される市民のニーズや課題の把握が必要であることから、市内各福祉センターにおいて、ワークショップが開催されます。

本日配布のチラシをご覧ください。

第1回目は、来月、12月14日の午後に新曽福祉センター、12月21日の午前に西部福祉センター、同日午後に東部福祉センターで開催され、現在メンバー募集中です。明日22日が締め切りとなっています。新しい施設づくりに向け、幅広い世代からご意見がいただければ幸いです。

今後の施設のあり方、再整備を検討していくにあたり、上戸田地域交流センター「あいパル」の取組について、参考に触れたいと思います。上戸田地域交流センター「あいパル」は、老朽化した上戸田福祉センター（上戸田公民館）の再整備施設として、平成27年に誕生した施設で、年間利用者数は20万人以上となり、幅広い世代に利用されています。

この施設は、福祉センター機能、生涯学習機能、男女共同参画推進拠点機能に図書館分館を統合した複合施設ですが、各所管課の事業を

まとめて一つの課で所管し、柔軟かつ効果的に事業展開ができるような組織体制となっており、指定管理事業者により運営されています。

市の条例的には福祉センターや公民館から外れた形ですが、施設事業としては、市民ニーズへの対応や課題解決、地域コミュニティの活性化のために、さまざまなイベントや講座を実施しています。

さらに地域とのつながりや市民活動のサポートにも力を入れており、自主的な学びや活動があいパルを拠点として生まれ、賑わいを創出しています。

生涯学習課所管の公民館機能、図書館分館については、指定管理の仕様書や事業計画において、市の施策推進にあたっての目標や目的、取組の方向性を示し、実現に向けて民間事業者のノウハウを取り入れながら生涯学習の推進に取り組んでいただいています。定期的なモニタリングを通して、進捗状況を確認したり、意見交換をしたりと有意義な関係性を気づいています。公民館事業への刺激にもなります。

特に、あいパルでは毎月のようにお祭りやイベントを開催し、地域や市民の活動、活躍の場の発信に力を入れています。また、予約がなくても、目的がなくても、ふらっと気軽に立ち寄れる居場所として、多くの方に利用されております。こうした施設は、今後の施設再編の参考になるのではないかと思います。

以上、現況や課題、他施設の事例などを踏まえ、公民館の今後の方向性について、生涯学習課の考えをお伝えします。

現在、公民館は、コミュニティ関連施設として位置づけられています。他にも、先ほど説明したあいパルのほか、コンパルやさくらパルなど各地域で学びや活動の場をつくとともに、市民の方々の交流・居場所として運営されている施設があります。

こうした施設は、所管する部署も直営や指定管理者など運営主体も異なりますが、市民から見ると活動の場として同じように見えるようです。

公民館も誰もが利用できる施設ですが、シニア世代の生きがいく

りや健康増進の場としてのイメージが強く、市民意識調査でも認知度が低く、どの世代にも利用しやすい施設としては捉えられていない状況です。

そこで、公民館の今後の方向性を考える上では、市民が求めているもの、社会や時代から求められているものをしっかり把握・分析し、ハード面だけでなく、施設機能や運営体制も検討していかなければなりません。先ほど申し上げましたが、市としても今後各施設で市民ワークショップを開催し、施設の利活用についての市民ニーズの把握を行ってまいります。その取組と同時並行で生涯学習の推進体制については、教育委員会をはじめ、社会教育委員会議など各審議体でもご意見をいただきながら方向性を検討していきたいと考えております。

生涯学習課としては、公民館を新たなカタチの「学びとつながりのプラットフォーム」として、柔軟で効果的な推進体制の整備や学びのオーガナイザー、コーディネーターとなる専門人材の育成・配置に努めるとともに、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を強化し、人づくり、地域づくり、つながりづくりのさらなる推進を進めてまいります。

学びで得た喜びや気づき、人脈を地域の中で活かせるようにしていく、一人ひとりが輝くことで、地域もまちも輝けるよう、学びや活動が活力となるきっかけをつくり、その仕掛けの中心となる施設づくりに取り組んでいきたいと考えています。

最後に、参考として、公民館に併設している図書館分室の現況および公民館を活用した子供の居場所に関する取組について説明します。

地域の学びの拠点となる公民館には、同じく生涯学習課所管である図書館分室が併設されています。おはなし会の実施など本を通じたつながりづくりや学びに役立つ本の紹介など、本に親しむ機会を創出しています。

さらに、受講した講座に関する学びを深め、広げるきっかけづくりとして、講座開催時に関連図書の情報提供を行っています。図書館の利用や調べ方学習のサポートとなるよう、図書館や博物館のPRも併せて行い、学びから地域資源へつながるよう努めています。

	<p>生涯学習と図書館利用については、引き続き連携を図ってまいります。</p> <p>さらに、公民館や図書館、博物館で現在力を入れている学びや体験を通した子供たちの居場所づくりについて説明します。</p> <p>子供たちも地域の一員です。地域全体で子供たちの学びや成長を支えるため、公民館など公共施設も学校を核とした地域づくりのパートナーとなれるよう、学校以外での学びや交流の機会をつくったり、地域の資源や人材とのつながりのお手伝いをしたりしていきたいと考えております。学校と連携し、学校の課題に対応した講座はとても人気があります。</p> <p>本日、次の教育委員提案のテーマにもありますが、「こどもの居場所」としての機能をさらに強化し、誰もが安心して利用しやすい施設、そして、地域の学びやつながりのプラットフォームとなる施設を目指して、取り組んでまいります。</p> <p>「公民館の今後のありかた」についての説明は以上となります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>戸田市は子供が大きくなって、家の購入を検討する段階で土地が高いからという理由で転出してしまう方が多いと聞くので、こういった公共施設を充実させ、「やっぱり戸田市に住もう」と思ってもらえたらよいと思いました。イメージ的にはあいパルが浮かぶのですが、多機能でみんなが楽しく過ごせるような居場所作りを進めていただければと思います。</p> <p>また、公民館は3つとも大通りに面していないことから場所がわかりづらいと思います。案内表示がないような気がしていて、案内表示の設置や回覧板、ポスター等で何とかアピールをできるとよいと思いました。</p> <p>3館すべてを建て替えるわけにもいかないでしょうが、今後の予算</p>

	<p>編成で公民館にも目を向けていただきたいと思いますと思いました。</p>
説明員	<p>ありがとうございます。</p> <p>戸田市は公共施設がとても充実していますが、1つ1つの施設の魅力は、ご指摘の通り足りない部分があるかと思います。</p> <p>しかし、足りない部分には可能性がたくさん眠っていると考え、生涯学習課の職員たちも積極的に先進事例を研究して事業に盛り込んでいるところです。</p>
委員	<p>御説明ありがとうございました。</p> <p>それぞれの公民館の利用者の年齢層はどのようになっているのでしょうか。</p>
説明員	<p>年齢層については公民館が実施する受講者アンケートに年代を書く欄があり、そこで全体的な公民館の利用者の年齢層をとらえています。70代以降の参加者が多い状況です。</p> <p>ただ、最近は土曜日、日曜日やオンデマンドでもイベントを開催しておりますので、比較的若い年齢層の方も増えている傾向です。</p>
委員	<p>そうすると、曜日によって利用者の年齢層に傾向がでてきて、そちらに応じて講座内容も変えているということでしょうか。</p> <p>また、講座は公民館側が提供しているのか、利用者側からの「こういうことをやりたい」という意見を吸い上げて形にしているのか、どちらなのでしょう。</p>
説明員	<p>現在、戸田市の公民館は社会教育法に位置付けられており、社会教育的な学びを公民館側が提供することがメインとなっております。</p> <p>その為、地域課題等に対して、どう市民を巻き込んで解決に向けて学んでいくかに重きを置いています。</p> <p>自主的な学びについては、「市民企画講座」で利用者の思いを形にする取組を行っておりますが、いかに市民からの意見を吸い上げるかがこれからの課題と考えています。</p>

<p>委 員</p>	<p>市民ニーズを丁寧に吸い上げることができるかが、利用者を増やし、満足度を高めるためには重要だと思います。</p> <p>本日の説明で課題や方向性を明確に把握していただいていることがわかったので、公民館の今後の発展に大いに期待したいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>説明ありがとうございました。</p> <p>建物の老朽化や利用者の高齢化、職員体制に人的余裕がない等、多くの課題がある中で、初めてこれだけ多くの取組をやっていただいているということがわかりました。</p> <p>今後、福祉センター再整備ワークショップを含めて再編の構想が出てくると思うのですが、上戸田地域交流センター「あいパル」のような福祉センター機能や生涯学習機能、男女共同参画推進拠点としての機能等、様々な機能を持つ1つの社会教育施設を作っていく方向が利用者の増加という観点では一番よいのではないかと思います。</p> <p>実際に新しい施設ができれば、それだけでも人は入ると思うのですが、公民館の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という役割を考えれば、今やっぺらっしやることをベースにさせていただいて、公民館に行けばこういうことができるようになるようなPRをしていただければ、利用者が増えるのではないかと思います。</p> <p>ちなみに、新曾公民館に図書館はないのですか。</p>
<p>説明員</p>	<p>かつてはあったのですが、同エリアに図書館本館ができた関係でなくなりました。</p>
<p>委 員</p>	<p>それぞれの施設の特徴である体育室やホール、図書館の活用方法についても恐らくワークショップで色々な意見が出てくると思うので、その意見を中心に新しい方向性を示していただければと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。</p>

<p>委 員</p>	<p>下戸田公民館や新曽公民館は時々行く機会があります。</p> <p>下戸田公民館は図書館の分室があるので、子供を連れて行って本を読むことはありますが、新曽公民館は予約して部屋を使う等何か目的がないとあまり行く機会はないのではないかと思います。</p> <p>今、他の委員さんがおっしゃった図書館について、新曽地域に本館があるので新曽公民館の分室がなくなったというところでしたが、分室を設ければ、より利用が増えると思います。</p> <p>あいパルを考えると、図書館や小さい子供が遊ぶスペース、自習室もあって子供たちでとてもにぎわっているイメージがあります。</p> <p>できれば小さくてもよいので、遊ぶスペースを設けていただくと、小さい子供を持つ親も行きやすいのかなと思いました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>事務局の方で何かありますか。</p>
<p>説 明 員</p>	<p>皆さまの御意見を聞いていて、一人一人学びたいものや利用目的が違うのでそれぞれのニーズに合わせて、自由に集える空間、カフェのようなものがある等、何かきっかけをつくることがとても大切だということを改めて感じました。ありがとうございました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>県の教育長会でも公民館の在り方が話題になります。</p> <p>それぞれの自治体でどのような取組をやっているかアンケートや意見交換の機会がありますが、他の自治体に比べて戸田市教育委員会は様々な取組をやっていることがよくわかり大変誇りに思っています。</p> <p>このように他の自治体と比較するとよくわかるのですが、まだ市民への周知が十分ではないので、戦略的な広報の在り方を検討するのも、1つ課題になると思います。</p>
<p>説 明 員</p>	<p>学校教育だけでなく、生涯学習・社会教育の分野は人生の中でも大切なところかと思しますので、学ぶ楽しさや知る喜びが1人でも多くの方々に伝わるように努めていきたいと思います。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>非常に重要な考えで、教育というと学校教育に焦点が当たりがちですが、長い人生を考えたときに学校教育は長くても2割程度しかありません。</p> <p>教育を生涯学習という視点で考えると、常に学びをアップデートしていく必要があります、生涯学習が極めて重要であるということが理解できると思います。</p> <p>続きまして、仙波委員から御提案のありました「教育委員提案②学校施設以外での子供のサポート、居場所について」、説明願います。</p>
<p>説 明 員</p>	<p>続いて、仙波委員から提案のありました「学校施設以外での子供のサポート、居場所について」御説明申し上げます。</p> <p>まず、「子供の居場所」の説明の前に、戸田市の子供の現状を改めて各種データから御説明申し上げます。</p> <p>資料 28 ページの左側のグラフ「総人口と年少人口」について、総人口は、この16年間で19.7%増加している一方で、0歳から14歳の年少人口は、この7年間で10.4%減少しております。戸田市においても、今後、緩やかに少子化が進行していくことが懸念されます。なお、グラフはありませんが、人口にカウントされる外国人住民の年少人口は、この16年間で3.7倍増加しておりますので、戸田市の少子化に外国人住民の影響が大きいものとなります。</p> <p>次に、「出生数と合計特殊出生率」について、出生数は、6年間で29.9%減少しており、合計特殊出生率も、7年間で0.65ポイント減少しております。一般的にはコロナ禍による出産控えも少なからず影響しているものと推察されます。しかしながら、グラフはありませんが、20歳から39歳の女性人口は、この16年間で2.8%増加と安定していることから、出生数の低下に歯止めがかかるか期待されます。</p> <p>続きまして、29ページにまいりまして、子供たちの居場所に関連いたしまして、「令和6年度全国学力・学習状況調査」に基づく、子供たちの放課後や週末の過ごし方について御説明申し上げます。</p>

左側の表が小学生で右側の表が中学生となります。御覧のとおり、全国の小中学生に共通して「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNS を利用したりしている」が最も多く、「地域の活動に参加している」が最も少なくなっています。戸田市の小中学生の特徴といたしましては、「学習塾など学校や家以外の場所で勉強している」割合が全国・埼玉県に増して高いことがわかります。この結果から、戸田市は学習塾が近隣市と比較して多いのかと申しますと、30 ページにまいりまして、令和3年経済センサスから解を導き出すことができます。表のとおり、10,000 人当たりの塾数はさいたま市、川口市、蕨市と比較して一番多い結果となっておりますので、多くの児童・生徒が学習塾を利用しているものと推察されます。

続きまして、31 ページにまいりまして、学校施設以外の主な子供のサポート、居場所を対象年齢毎に早見表にいたしました。これより、主なものを御説明申し上げます。

32 ページにまいりまして、代表的な子供のサポート体制といたしましては、資料のとおり就学前では保育園等、幼稚園です。まず、保育園等の数と定員につきましては、保育園が公立 7 園と民間 37 園、0 歳児から 3 歳未満時を対象に定員 6 人以上 19 人以下で保育事業を行う小規模保育事業が民間 11 園、従業員の児童と併せて一定数の地域の児童を預かる事業所内保育事業が民間 2 園で、全施設の定員は合計で 3,808 人となります。特色のある保育内容の一例といたしましては、毎日 30 分程度「サークルタイム」という英語の時間があり保育士の資格を有した外国籍の保育士が講師となる保育園があります。次に、幼稚園の数と定員につきましては、民間 10 園で定員は合計 2,740 人となります。特色のある教育内容の一例といたしましては、1 日 10 時間以上の開園、夏休み期間の実施など、預かり保育時間を拡大している園もあります。令和元年 10 月からの幼児教育・保育の無償化により、教育時間に加え、保育の必要性の認定を受けた者は、預かり保育時間も無償化の対象となります。次に、就学後では学童保育室です。学童保育室の数と定員につきましては、公立 24 園 民間 26 園で定員は合計 2,301 人となります。特色のある保育内容の一例といたしまし

	<p>ては、午後7時以降の延長保育、軽食サービスや、そろばん、習字、音楽、英会話などの学習指導、ダンス指導、水泳教室やサッカー教室への送迎など、民間独自のサービスを別途料金を徴収し実施しております。</p> <p>続きまして、33ページにまいりまして、小学生以降対象の居場所事業といたしましては、資料左側の放課後子ども教室は、全小学校において、放課後に、余裕教室や校庭、体育館などを活用して、スポーツ・文化活動・交流活動などを実施しております。右側の青少年の居場所は、主に、福祉センターにおいて、放課後に、スポーツや勉強など自由に過ごす居場所を開催しております。なお、今月から図書館が青少年の居場所として追加されました。</p> <p>続きまして、34ページにまいりまして、新たな子供の居場所につきましては、3つに分類され「たべる」のこども食堂は11団体15か所、「まなぶ」の学習支援教室は4団体4か所、「あそぶ」のプレーパークは1団体2か所となり、令和5年11月には、居場所づくりに取り組む団体と、その活動に賛同する企業等との交流、情報共有、資源のマッチング等の支援を行うことで、居場所の輪を広げていくことを目的として「戸田市こどもの居場所ネットワーク」を設置されました。</p> <p>最後に、35ページにまいりまして、新たな居場所の取組として、民間事業者による宿泊を伴った子育て支援の居場所につきましては、子育て家庭に「ゆとり」をつくり、子育て疲れを解消することを目的として、専用の施設で宿泊を伴って小学生を対象に一時的に預かる取組でございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほどの公民館と同様に取組を教えていただいて、十分色々なことをやっけていただいているということがよくわかりました。</p> <p>1点だけ、資料35ページにある民間事業者による宿泊を伴った子育て</p>

	<p>て支援の居場所について、運営が2024年2月末までとなっていますが、こちらの事業はもう終わってしまったのでしょうか。</p>
説明員	<p>あくまでも2024年2月末までというのは実証期間であり、現在も継続的に実施されていると報告を受けております。</p> <p>子育て家庭に「ゆとり」をつくる目的以外にも、福祉的な視点から活用されている場合もあります。</p>
委員	<p>利用される御家庭によってニーズが千差万別であり、それにきめ細かく対応していくというのは容易なことではないと思います。</p> <p>話を聞いていて、この取組を知ったら戸田市に住んでみたいと思う人は多いと思います。ぜひ継続して取り組んでいただきたいです。</p> <p>むしろ、どうやってこの取組を周知するかが課題だと思います。</p>
説明員	<p>先ほどお答えしたように、福祉的な視点で利用してもらう場合もございますので、広報のバランスはとても難しいのかなと思います。</p>
委員	<p>このような公的な設備を民間企業にも加わっていただいて有効活用していくことが今後の課題解決の鍵かなと思いました。</p> <p>負担も多いでしょうが、今後も頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>今まで教育委員会で学校施設以外の子供のサポートについて説明していただく機会はなかったのではないかと思います。</p> <p>今回の説明を聞いて、子供たちを市全体で色々な方向で見守っているということが大変よくわかって大変ありがたかったです。</p>
教育長	<p>他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>子ども食堂についても調べていただきありがとうございます。</p> <p>どれくらいの人数が利用しているのか、営業時間は何時から何時までか、子供が食べ終わっても居てもいいのか等詳細についてお伺いし</p>

	たいです。
説明員	<p>子ども食堂が脚光を浴びた時はコロナ渦で、どちらかという社会的援助が必要な方々が利用されるイメージが強かったと思いますが、最近はお子たちの居場所づくりというイメージが強いです。</p> <p>運営団体が11団体あり、それぞれの団体がいつ開催するかを決めています。資料36ページに「戸田市こどもの居場所」サイトの二次元コードを掲載しましたが、そのサイトで運営団体がいつ子ども食堂をやっているかをわかるようにしています。</p> <p>私も子ども食堂を何ヶ所か見させていただきましたが、非常ににぎわっていて、用意した食事数もなくなってしまうということで、本当に一生懸命運営されていると感じています。</p>
委員	他の団体から必要な食材の提供を受けているのでしょうか。
説明員	<p>他団体からの提供もありますし、県が中心となって食材を集めるネットワークを持っていて、そこから分配される団体もあります。自分たちで賞味期限間際になった食材を集めて運営している団体もあります。</p> <p>それぞれの団体が特徴や強みを活かしながら運営しているのが現状かと思います。</p>
委員	今後、こういった取組が少しずつ増えていけばよいなと思いました。ありがとうございました。
委員	<p>今まで子ども食堂に対して、福祉的なイメージが強かったのですが、誰でも行ってよいということを知り、行ってみたらすごくおいしいご飯を食べられました。</p> <p>子ども食堂がいつどこで開催されているかがわからないので、この二次元コードを読み込んだらわかるということをもっと広くアピールしてもらえたらと思いました。</p> <p>また、小学生以降が対象の施設について、人員の関係で難しいとは思いますが、開催日が非常に限られていて、なかなか行きづらい方</p>

	<p>も多いと思うので、できればもう少し回数を増やしていただけたらありがたいと思います。</p> <p>最後にショートステイ事業について、今回初めてこの事業を知ったのですが、親からすると1日だけでも子供を預けられたら心のゆとりを持てる方がたくさんいらっしゃると思います。</p> <p>ぜひ続けてやっていただきたいと思いました。</p>
説明員	ありがとうございます。
教育長	<p>他にはいかがでしょうか。</p> <p>今、話を聞いて思ったのが、こども健やか部や健康福祉部の方々にも、この定例教育委員会に入ってもらい、教育委員の声を届けたり意見交換したりする機会があってもよいのかなと思いました。</p> <p>是非とも検討してみてください。</p>
委員	<p>私も賛成です。</p> <p>ただ、普遍的な議論ができるように、しっかりと現状を把握した上でデータや根拠に基づいて課題を設定してから相手に伝える必要があるかと思います。</p> <p>議論の仕方をきちんと意識していただければ、説得力が生まれ、聞く方にも、納得してもらえるかと思います。</p> <p>本日は大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>まさにデータや根拠が部局を超える共通言語ということですね。</p> <p>教育委員会の思いや考え、経験だけで何か言っても相手には伝わらないので、客観的なデータ、根拠を重視しながら、ぜひそういう機会を作っていけるよう、前向きに検討していきたいと思います。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは以上を持ちまして教育委員提案を終了いたします。</p> <p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」</p>

	<p>を含めまして5件の報告がございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 令和6年度優秀な教職員の表彰について【秘密会】 ② 不登校について考える会について ③ 市民大学講座「人権講演会」の開催について ④ 市民大学講座「とだ学」の開催について ⑤ その他 <p>資料 No.2 に基づいて、秘密会以外の詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了した後に伺います。</p>
<p>説明員</p>	<p>報告事項②「不登校について考える会について」御報告いたします。</p> <p>10月12日土曜日に開催いたしました「戸田市不登校について考える会」について報告いたします。</p> <p>今年度3回目となるこの会ですが、対面で開催しましたところ、104名の御参会がありました。昨年度とほぼ同程度となります。</p> <p>第1部は、文部科学省の藤井 健人様に「不登校と定時制を経験して ～不登校経験のその先にあるもの」という演題で、御講演をいただきました。御講演は当事者としての御経験を踏まえてお話をいただきましたので、御自身しか感じ得ない気持ちや意識なども伺うことができ、保護者や当事者の方にとって、新たな学びや気づきにつながったことが感想からも伺えました。</p> <p>主な感想としては、「この話は不登校児童本人や保護者だけでなく、多くの人に知って欲しいと思った。」「不登校の子が将来感じるであろう葛藤を知ることが出来てよかった。」「講師の先生の思いが良くわかり、やはり不登校児童をなくさなくてはいけないと思いました。」などです。</p> <p>第2部のシンポジウムは、本市の教育支援センター「すてっぷ」の運営を委託している学研エル・スタッフィングにコーディネートし</p>

	<p>ていただき、「すてっぷ」を卒業した、不登校経験者3名に登壇いただきました。現在高校生として充実した毎日を過ごしているとの言葉に、改めて「すてっぷ」の意義と学校以外の居場所づくりの大切さについても強く感じたところです。</p> <p>第3部は、公的支援機関や民間フリースクール、サポート校などが8ブースに分かれて個別相談を行いました。今年度は教育委員会が用意している、翔陽高校の「いっぽ」や西部福祉センターの「西すてっぷ」などの多様な学びの場についても、時間をとって紹介や相談を行いました。多くの保護者が熱心に相談をされていました。</p> <p>次年度に向けては、7にあるような新たに知りたいことなどを参考にして、会を計画してまいります。</p> <p>今後も戸田型オルタナティブ・プランを推進し、不登校児童生徒や保護者への支援について充実を図ってまいります。</p>
<p>説明員</p>	<p>報告事項③「市民大学講座『人権講演会』の開催について」御報告いたします。</p> <p>資料4ページを御覧ください。</p> <p>今年度の人権講演会は、「あなたならどうする？～障がいを理由とする差別のない共生社会を目指して～」と題し、アイドルグループ仮面女子の猪狩 ともか（いがり ともか）様と東京家政大学人文学部教授の田中 恵美子（たなか えみこ）様を講師に招き、健康福祉部障害福祉課と共催で開催いたします。</p> <p>第2部で講義いただく猪狩ともかさんは、埼玉県出身であり、平成30年4月に事故に遭い脊椎を損傷され、現在は車椅子でアイドルとして活動されている方となります。</p> <p>本講演会は、令和6年4月1日に施行した「戸田市障がいを理由とする差別のない共生社会づくり条例」に基づく共生社会の実現に向けた取組として実施するものであり、市民大学講座で実施している人権教育の観点も取り入れた内容となります。</p>

	<p>今回も、会場受講に加えて、オンデマンド配信を実施いたします。</p>
説明員	<p>報告事項④「市民大学講座「とだ学」の開催について」御報告いたします。</p> <p>資料5 ページを御覧ください。</p> <p>「とだ学」は、地域への理解を深め、郷土愛を醸成することを目的として開催している講座です。</p> <p>今年度は、「戸田公園を訪ねてみよう～ボートコースの魅力に触れながら～」というテーマで、現教育委員の浜田 美咲（はまだ みさき）様と埼玉県ボート協会の和田 卓（わだ たく）様を講師として、12月14日（土）午後2時から戸田公園管理事務所で実施します。</p> <p>当日は、戸田公園の歴史についての説明や浜田委員からのローイング競技の体験談のほか、実際に聖火台や艇庫などを見学し、本市の地域資源である戸田公園について学ぶことで、市民が地域への愛着をさらに深めていくことをねらいとしております。</p>
教育長	<p>報告事項⑤「その他」について、事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>一昨日、11月19日にあべ俊子文部科学大臣が芦原小学校に学校視察のため訪問されました。今回の学校視察では喫緊の課題である不登校対策と学校における働き方改革をテーマに学校視察が実施されました。</p> <p>当日は教育長からオルタナティブ・プランと不登校対策について御紹介いただいた後、ぱれっとルームを御覧いただき、子供たちの日ごろの過ごし方や学校がどのようにサポートしているかについて校長先生からも御説明をいただきました。</p> <p>その後、働き方改革をテーマに小学校での教科担任制による授業の様子、特に教師の専門性を活かし、ICTを活用した最先端の学びの様子を御覧いただきました。</p> <p>最後に芦原小学校だけでなく新曽中学校の教師も加わり、あべ大臣との意見交換会を設けさせていただきました。教師からは働き方改</p>

	<p>革、特に人員配置の充実について現場の切実な状況が伝えられました。</p> <p>あべ大臣は大臣就任後、最初の学校視察が今回の戸田市の訪問だったということで、大変感銘を受けられたようでした。意見交換会では特に人員等の配置について、しっかりと予算をつけられるよう取り組むと力強くお答えをいただきました。</p> <p>戸田市といたしましても、改めて誰1人取り残されない学びと働き方改革の推進に取り組んでいきたいというふうに考えております。御報告は以上になります。</p>
教育長	<p>以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
教育長	<p>まず、報告事項②不登校について考える会について、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>当日参加したのですが、藤井さんの講演が本当に素晴らしかったです。講演が予定していた時間よりも20分ぐらいオーバーしていましたが、まだ話し足りないこともあったようで、残念に思いました。</p> <p>ぜひ、また藤井さんをお呼びいただいて、もう少し講演の時間を長く設けて、なるべく多くの方々に聞いていただきたいと思った講演でした。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>講演を聞けなかった方に、次回以降はオンデマンド配信していただけるよう、御検討をよろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>他には、いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは報告事項③市民大学講座「人権講演会」の開催について、いかがでしょうか。</p> <p>この猪狩さんという方は、SNSのフォロワー数もかなり多いすごく</p>

	有名ですよ。ぜひ委員の皆さんもお時間ありましたら、参加していただけたらと思います。
教育長	他にはよろしいですか。 それでは報告事項の④市民大学講座「とだ学」の開催について、いかがでしょうか。
委員	予約が結構埋まってきているということでしたので、魅力を伝えられるように頑張りたいと思います。
教育長	ぜひ、魅力を語ってきてください。 それでは報告事項の⑤その他について、いかがでしょうか。
委員	芦原小学校と新曽中学校の教師はそれぞれ何名が意見交換会に参加したのでしょうか。
説明員	芦原小学校から3名、新曽中学校から2名の教師が参加しています。また、両校の校長先生も参加しています。
委員	少ない人数ですが、きちんと現場の声を熱く語っていただけたようでよかったです。
教育長	それでは次に、次第の6 その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。
事務局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、12月19日（木）午後2時00分からの開催について、お伺いいたします。
教育長	次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。
各委員	了承
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次にその他ですが、事務局から何かございますか。
事務局	特になし。
教育長	委員の皆様から次回以降の教育委員提案のテーマについて何かご

	<p>ざいますか。</p>
委 員	<p>戸田市では教科担任制を既に実施しているとのことでしたが、実際に教科担任制がどのくらい浸透していて、教師の負担軽減にどう結びついているのかを教えてくださいたいです。</p> <p>それともう1点、本日も素晴らしいプレゼンをしていただきましたが、戸田市では長年色々な改革や取組をしているので、せっかくですから、プレゼン資料を何らかの形でまとめて、社会にアピールしてはどうかと思いました。</p> <p>特に ICT 導入後の戸田市の教育改革について、どういう成果や問題があって、どう対応してきたのかを項目別にまとめて本にしていただくとよいのかなと思います。</p> <p>それと同時に戸田市内の教師は工夫して授業をやってらっしゃるので、アンケートに協力していただいて、ICT を活用して教育が効率的に行われている事例集という形で、工夫している点等を1つにまとめていただくとよいのではないかと思います。</p> <p>恐らく、どうやって ICT を導入したらよいのか、導入するメリットは何なのかということを知りたいと思いますので、まとめていただくと大変役に立つのではないかと思います。</p>
教 育 長	<p>1点目の教科担任制は一昨日、大臣が視察に来られたときのテーマの1つでもありました。</p> <p>それから2点目の今までの提案等を活字に起こした方がよいのではないかということについて、過去に戸田市の教育史を作成しようという話があがっていました。</p> <p>また、近々喜沢小学校が「誰ひとり」取り残されない学校づくりをテーマにした本を刊行します。</p> <p>戸田市の取組を広く発信する、後世に残すという意味でも非常に大事な御指摘かと思いますので、時間はかかるかもしれませんが、検討させていただければと思います。</p>

	他にはいかがでしょうか。
委員	<p>先程も話が出ましたが、子供たちが昔より家で過ごす時間が増えていていると思います。</p> <p>外に出て、自分が地域に何か貢献できることはないのかということで、例えば地域清掃や老人介護施設訪問といった地域貢献活動に取り組む地域の方と一緒に活動する機会をつくったほうがよいのではないかと思います。</p> <p>そういったボランティア教育や地域貢献活動に中学校でどのように取り組んでいるのかを聞きたいです。</p>
教育長	実際に現時点で何か取り組んでいますか。
説明員	現在、PBL の取組も割と外に出始めています。教育課程と絡めながら各学校で取り組んでいる状況だと思います。
教育長	こちらは少しお時間をいただいて教育政策室から御報告させていただきます。
委員	現状 PTA がどういった運営になっているのか、それに対して学校側で以前と動きが変わった部分があるのか確認させていただければと思います。
教育長	こちらは生涯学習課で御報告させていただきます。
教育長	他にはいかがでしょうか。
委員	とだっ子ゼミナールという補習授業を全小学校で3年生から6年生で募集してやっていたらと思うのですが、現在市内の小学校でどれぐらいの登録数、補習授業による学習効果がもしわかれば教えていただければと思います。
教育長	こちらは教育政策室から御報告させていただきます。
教育長	それでは「報告第1号及び議案第24号から26号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関

	以上のとおり会議の経過及び結果を記し、相違ないことを証するため署名する。
	令和6年12月19日
	教 育 長
	教育長職務代理者
	委 員
	委 員
	委 員
	書 記